

キラリ★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



電気設備の過負荷にご注意を！！ 定期点検で事故を未然に防止！！

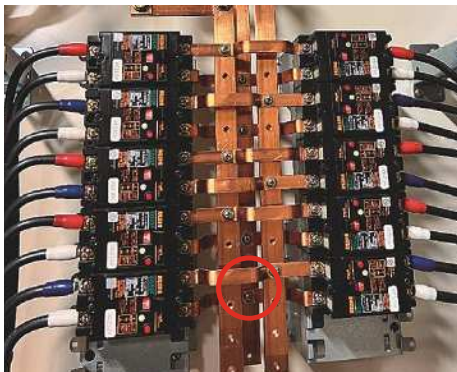
| 点検対象 | 事務所 | 点検地区 | 浦河町 |
|---------|--|------|-----|
| キラリポイント | 月次点検時にロードヒーティング変圧器三相100kVA、定格電流275Aの電流を測定した際、S相の電流が290Aと過負荷になっていました。R相及びT相は定格電流未満の260Aであり、負荷のバランスが悪いことに気づきました。 | | |

現場の状況と対策

過負荷によって変圧器の劣化を早めたり、場合によっては焼損してしまう恐れがあるため、早急に状況をお客さまに説明し、対策として配線を変えて負荷のバランスを調整するか、または通電していなくても運用上支障のない回路のブレーカーの開放をご提案しました。

ブレーカーの開放が困難である旨をお伺いし、当協会で配線を変えて分岐回路の相変更を行い、R相265A、S相270A、T相275Aへと負荷のバランス調整を実施しました。

▼ロードヒーティング分電盤(発見時)
(分岐回路S相-T相、200Vで使用していた)



▼ロードヒーティング分電盤(改善)
(分岐回路R相-T相、200Vで使用できるよう配線替え)
※この作業を4カ所実施



技術者からのワンポイントアドバイス

変圧器のような電気設備の過負荷は、設計時以降に負荷を増設していたり、更新のために機器を交換した際に容量を増加したりすることによって、知らず知らずのうちに発生してしまう可能性があります。

事故の未然防止のためにも、負荷の増設や機器の入れ替え等の予定がある際は、お気軽に当協会へご相談ください。

浦河事業所
布施 淳一